

優しい風の吹く街



市民ネット宝塚

第29号 2011年 1月発行



2010/10/17 毎年恒例「ピンクリボンスマイルウオーク神戸大会」に参加。出発時にあたたかく優しく励ましてくれるキティちゃん。うれしいです。

新しい年がスタートしました。市議会議員として2期8年。この間ずっと私は「一人ひとりが大切にされる社会」をめざして活動してきました。これからも、のびのびと子どもが育つ街・ともに生きがいを作る街・平和と人権を守る街・市民の笑顔が輝くぬくもりのある街…そんな「～優しい風の吹く街～宝塚」をめざして、一生懸命がんばっていきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

活動報告～抜粋～

10月	11月
5日 総合計画特別委員会 (10/12・15・18・11/11・19)	2日 宝塚市戦没者追悼式
7～8日 全国都市問題会議(神戸)	3日 公民館まつり
13日 9月議会本会議	7日 たからづか民族まつり
20～22日 全国市議会議長会 研究フォーラム(大分)	8日 政務調査費調査特別委員会 (11/16・29)
25日 宝塚市退職教職員の会「秋の催し」	12日 郷土史研究会
29日 阪神政策研究会	13～14日 ひょうご教育フェスティバル(姫路) 【第60次兵庫県教育研究集会】
30日 被爆アオギリII世 植樹 平和特別講演会 秋葉広島市長	20日 子宮頸がんを予防する講演会
31日 白井文尼崎市長講演会 「どう伝えどう進めるか 男女共同参画政策」	22日 議員研修会
	28日 第19回「出前議会」
	11月19日 ～ 12月20日
	12月議会

2010/10/7 第72回全国都市問題会議

●都市の危機管理 ～協働・参画と総合政策～

災害後の素早い対応の大切さや県・国の支援への感謝、住民のつながり強化へと地道なとりくみ等の報告。自治体での公助には限界があり、自助・共助を真剣に求める時期がやってきたこと、「ソーシャルキャピタルの視点からみた都市の安全安心」「個の総体がまちを守る」として、人と人とのつながりが安心・安全を生み出す基本で、いかに行政がそこにバックアップするかが課題だとの論点が整理され、「危機管理」の面でも「協働と参画」が焦点となっているのだとわかりました。



12月定例市議会報告 一般質問及び答弁～抜粋～

1. 生活保護要保護者等に対する自立支援事業について

①働くことの喜びを知り、働くことのきっかけを作るプログラムが大変有効であると実証もされているが、本市の自立支援プログラムと、就労支援の取り組みは。

②「家庭の教育力」が不足したなかで育つ子どもたちに、学習環境を整え、学習する意欲を持たせ、学力をつけることや「貧困の負の連鎖」から脱却するための「生きる力」をつける教育支援が、必要ではないかと思うが、「子どもの貧困」からの脱却と教育支援についての見解は。

〈市長 答弁〉

①平成17年より就労支援員1名配置。ケースワーカーと連携し、就労による被保護者の自立支援を実施しており、平成21年度は18名が就労を開始し、そのうち5名が生活保護の停廃止となった。また、母子世帯自立支援プログラムで3名が高校入学、5名が職業訓練校に入学し、就労のための学力向上やスキルアップに努めている。本年8月には女性の就労支援員を1名増員するとともに、10月からは無料職業紹介所を開設。今後とも就労支援に努めていく。

②被保護世帯には高校の学費を扶助できることから高校進学を勧めており、必要に応じて、学校等の関係機関と支援方法等の検討会を開催し、支援方法の確認や連携を行っている。「子どもの健全育成支援事業」の活用について研究していきたい。

〈学校教育部長 答弁〉

②進学支援等を行う子どもの健全育成事業の活用を検討。導入予定のスクールソーシャルワーカーにより関係部署との連携を図る。

2. 教育用ICT環境の整備について

各学校にコンピュータ導入が行われたその成果と課題は。

〈教育長 答弁〉

昨年度末までに校務用コンピュータを教員1人につき1台配置。教育総合センターでのセンターサーバ化。グループウェア導入により情報交換やデータ共有化拡大し、教材を有効活用できる。ICT支援員派遣により教員のICT活用能力向上。反面、授業支援ソフトを導入していなかったため指導しにくくなったという課題や消耗品不足が生じた。今後は学校現場の意見を聞きながら校務支援システムの再構築等の改善を図っていく。

意見

「センターサーバ化」については、情報を共有し生かすことと、守るべき情報を守ることの両立が重要。様々な課題やトラブルの解決のために市も全面的にバックアップして対応してほしい。



2010/10/18 **総合計画特別委員会**

2011年からの10年間のまちづくりの方向性を定める宝塚市第5次総合計画案について審議。「基本構想」の議決まで議員間協議も重ねてきました。

3. 教育環境整備について

新学習指導要領スタートに向けて、外国語活動・武道など新しい学習への対応について、どのような取り組みが進んでいるのか。

〈教育長 答弁〉

英語学習指導助手ALTを派遣。教員研修会を開き指導力向上に努めている。35時間のカリキュラム参考例を現在作成中。武道場を4校で建設。柔道着も整備。指導力の向上を図る。

過大規模校の教室不足など、各学校の課題解決の取り組みは。

〈教育長 答弁〉

児童・生徒数の推計値に基づき、一時的に教室が不足すると見込まれる学校については、多目的室の転用や仮設校舎を設置することで対応し、大規模開発等で根本的に教室不足を解消することが困難と判断した場合は増改築工事により対応していく。しかしながら、根本的な解消のためには、校区見直し等も視野に入れた学校規模の適正化を検討する必要性も考えている。トイレ環境の改善については、早期に実施する。

「宝塚市教育振興基本計画」の基本的な考え方や重点となる教育の方向性は。

〈教育長 答弁〉

10年間の目標は「自分を大切に 人を大切に ふるさと宝塚を大切に作る人づくり」と定めた。教育の方向性は、子どもの「生きる力」を育む。学校園、教職員の教育力を高める。市民全体で子どもを応援する。生涯を通じて学ぶことのできる環境を充実する。

宝塚第一小学校の校区見直し案についてこれまでの取り組み経過は。

〈教育長 答弁〉

本年度に入り、現状でも過密状態にある宝塚第一小学校において、児童数増加が予測され、教室が不足する見通しとなったことから、同校の適正規模化を図ることが必要と判断。育友会や自治会、まちづくり協議会の役員のみならずと協議を重ね、校区変更案も提示し説明を行った。その後、具体的な町名を記載した今回の変更案は、当該地域の保護者や子どもたちに不安や動揺を与える結果が生じたことや、開発見通しに変動があったことなどにより、児童数の予測を下方修正することができたことから、撤回した。しかし、本市の現状をみると、過密状態の学校がある反面、児童数が大きく減少している学校もあり、良好な教育環境の提供や適正な学校運営を確保する観点から、全市的な視点での学校の適正化の検討が課題。今後、通学区域審議会を設置し検討を行う予定。

教職員の健康管理、特にメンタルヘルスケアの現状と、人的配置拡充の方向性は。

〈教育長 答弁〉

教職員の健康管理については、安全衛生委員会を年2回開催し、残業時間の削減や病気休暇取得者への対応等、取り組みの徹底を図っている。長期病気休暇取得者の職場復帰に対しては、退職校長を職場復帰支援員に任用し、プレ出勤等のサポートを実施。その他、人員配置拡充については、市内3中学校に対して生徒指導緊急対策加配教員を配置し、指導体制の充実に努めている。今後もできる限りの対応をしていきたい。

意見

開校当初は83名でスタートした山手台小学校。15年たった今、480名を超える児童数となっている。オープンスペースの問題点など、増築の際に根本的な改善を求める。学校現場の教職員の意見を、しっかり反映させて努力してほしい。

活動トピックス

2010/10/16 小林のだんじり巡行



2010/10/16 駅前での街頭集会

応援演説させていただきました。
これからもまた一緒にがんばります。



宝塚市退職教職員の会バスツアー

京都へ行ってきました。高さ55m木造建築物としては日本一の高さを誇る五重塔。美しく素晴らしい塔でした。先輩のみなさんと交流もできて充実の一日でした。

2010/10/25



川西市議会議員選挙

津田加代子さん ☆当選☆

近畿・東海ブロック退職女性教職員交流集会

掛水県議から、介護保険事業の現状報告があり、わたしはそれをうけて、地域の高齢者の元気なとりくみを紹介しました。

2010/11/25



2010/12/4 再生プロジェクトに参加

幻の宝塚震災追悼オブジェ「生」が甦ります！
「生」は2005年に街と人の心の再生を願って制作された石積みの巨大アートオブジェです。05年06年には1.17前夜に阪神淡路大震災追悼のライトアップがなされましたが、その後は自然消滅。しかし、「生」は有川浩さんのベストセラー小説『阪急電車』で重要なモチーフとして再び甦り、この小説の映画化に伴い、再現プロジェクトが立ち上がったのです。



～風のココロ～

北朝鮮の砲撃事件が起こって、朝鮮高校への授業料無償化手続きがストップしてしまいました。文部科学省は「政治は教育内容に直接介入しない」ことを原則に手続きを進めてきたはずですが、砲撃事件と高校授業料無償化は別問題だと強く訴えます。

◇発行人◇ 北野さと子

◇連絡先◇

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>